

神話伝説の山里

たかちほごう

# 「高千穂郷」通信

243

令和5年 | 2月号



発行 宮崎県西臼杵支庁



## 完熟きんかん「たまたま」色鮮やかに

完熟きんかん「たまたま」は、生産者の皆さんによる品質向上の努力と県・JAほかの関係者が一体となった取組により、みやざきブランドを代表する品目の一つとなりました。中でも、西臼杵産の完熟きんかん「たまたま」は、高冷地の冷涼な気候を生かす栽培技術により、大玉で糖度が高いという特徴があります。

西臼杵農業改良普及センターでは、生産現場を定期的に巡回していますが、12月上旬のある暖かい日、同センターの富樫 瑞穂 技師が日之影町の山本 唯仁さんのハウスを訪れ、生育状況が順調で品質管理が良好に行われていることを確認していました。

さあ、いよいよ1月から出荷が始まります。



支庁土木課 <sup>ふくもと みほ</sup> 福元 美穂 技師 に聞きました！

主要地方道 <sup>たけた ごかせ</sup> 竹田五ヶ瀬線

# 仮称 <sup>はきのせ</sup> 波帰之瀬橋

について

私が担当している（仮称）波帰之瀬橋の建設は、主要地方道竹田五ヶ瀬線の改良工事の中でも最大のプロジェクトです！

今は、現道を谷底までうねうねと下って五ヶ瀬川を渡り、また上らなければなりません。新しい橋は、長さ412m、水面から約110mの高さで高千穂町側と五ヶ瀬町側を一直線で結ぶことになります。

この（仮称）波帰之瀬橋の建設を含む竹田五ヶ瀬線の改良工事は、町民の皆さんが行き来する上でとても便利になるだけではなく、国道325号、国道218号とのアクセス改善や九州中央自動車道の整備も相まって、物流や防災、救急医療の体制強化のほか、新たな周遊型の観光ルートの形成にもつながるんです！

西臼杵支庁土木課  
福元 美穂 技師

## 01 着実に進む改良工事

—— 竹田五ヶ瀬線の改良工事は、今どんな状況なのでしょう？

道路の改良工事は、狭い箇所の幅員を広げたり、勾配を緩やかにしたり、曲がりくねった箇所をまっすぐにしたりして、走りやすい道路にするための工事です。

竹田五ヶ瀬線の改良工事は、現在、未改良区間である「高千穂町<sup>ゆつしお</sup>夕塩～五ヶ瀬町<sup>つちえ</sup>土生」間の6.3kmを4つの工区に分けて行っていますが、そのうち波帰<sup>はき</sup>工区はすでに完成し供用しており、他の工区も工事が終わった箇所から部分的に供用を始めています。

すべて完成すれば、延長も6.3kmから4.1kmへ大幅に短縮されることとなりますが、効果を最も大きく引き出す工事が（仮称）波帰之瀬橋の建設ということになります。



改良工事の様子(夕塩工区)

—— （仮称）波帰之瀬橋の建設はどの程度進んでいるんですか？

高千穂側の橋台※（A1）が令和4年8月に完成し、さらに橋脚※（P1）も令和5年3月に完成しました。

五ヶ瀬町側では、橋脚（P2）の建設に令和4年12月から着手しており、令和6年度からは橋台（A2）も着工できる見込みです。（仮称）波帰之瀬橋を含む波帰之瀬工区は令和11年度に完了する予定です。（概略は右図参照）

- ※ 橋台・・・岸側から橋を支える構造物
- ※ 橋脚・・・谷から立ち上がって橋を支える構造物

## 02 難工事となった橋台(A1)工事

—— 想像以上に大規模な工事ですね。苦勞することもあるんじゃないですか？

工事では最初の設計どおりに進まないことはよくあります。（仮称）波帰之瀬橋のような巨大な橋の建設になるとなおさらです。

担当して最初の年、橋台（A1）の基礎の工事で山を掘削したところ、側面から水が大量にあふれ出てきたと施工業者から連絡がありました。掘った穴の側面には、モルタルを吹き付けることになっていましたが、水でモルタルが流れてしまいます。

はじめは、ポンプで水を吸い上げながらモルタルを吹き付けようとしたのですが、うまくいかず、もう、どうしていいかわかりませんでした。

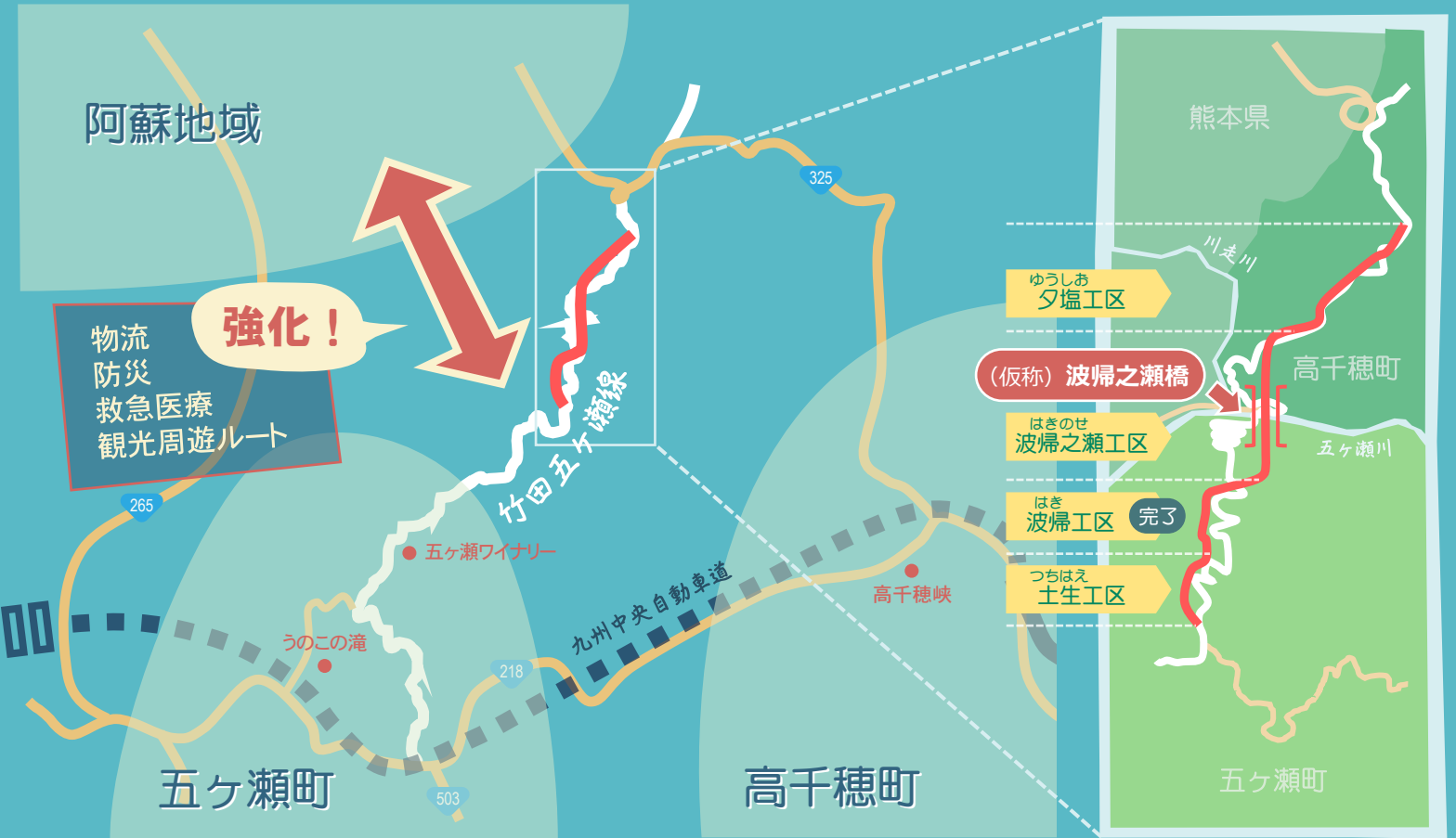
—— どっ、どうしたんですか？

施工業者と協議を重ね、最終的には筒状の鋼材を型枠代わりにしてモルタルを入れて固め、鋼材を取り去ることで側面を固定できました。苦勞した分、A1橋台の工事が完成したときの達成感はひとしおでした。

## 阿蘇地域

物流  
防災  
救急医療  
観光周遊ルート

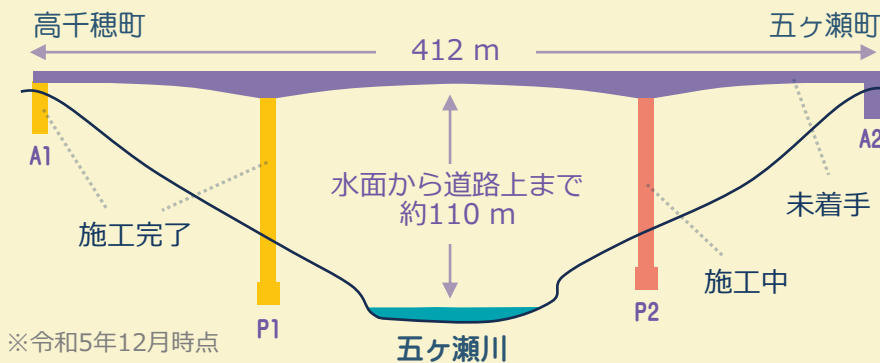
**強化!**



### (仮称)波帰之瀬橋の概略図



高千穂町側の橋脚(P1)



※令和5年12月時点



五ヶ瀬町側の橋脚(P2)工事

### 03 ドボジョ(土木女子)のストレス解消法

— そういう大変なプロジェクトを抱える福元さんのストレス解消法は何ですか？

よく登山をします。祖母山や丹助岳にも登りました。宮崎市の<sup>ぼろいしやま</sup>双石山を走る13kmのトレイルランに参加して2位になったこともあります。

昔から走ることが好きで、中学校では駅伝部、高校では陸上部、大学ではランニングサークルに入っていました。現在は県庁陸上部に所属しています。

走ると頭が真っ白になって、リフレッシュできるんです。



宮崎100kmリレーマラソンにも参加しました！

### 04 これからに向けて

— 福元さんのこれからの抱負を聞かせてください。

(仮称)波帰之瀬橋をはじめ竹田五ヶ瀬線の改良工事はまだ途中なのですが、地元の方々に工事の進み具合を説明すると、温かい感謝の言葉をいただき、完成への期待も感じます。プレッシャーを感じつつも、自分の仕事が役に立っていると実感することができてとても嬉しいです。

私は、大学で土木工学を学ぶうちに、巨大な構造物を造るスケールの大きさに魅了されました。だから、(仮称)波帰之瀬橋の建設に携わることができ、とてもありがたく思っています。

入庁6年目でまだまだ勉強不足ですが、支庁の同僚や先輩、そして、いろんな関係者の皆さんとともに仕事をする中で経験を重ねながら、これから県の技術職員としてもっとたくさん知識と技術を身につけていきたいと思っています。



高千穂町

佐藤 院長が

## 社会福祉功労者表彰厚生労働大臣表彰

受賞！

高千穂町岩戸 佐藤医院の佐藤 元二郎 院長が受賞され、12月8日（金）に西臼杵支庁で伝達式が行われました。

西臼杵支庁は、生活保護や老人、児童、障がい者福祉に関する事務を行う「福祉事務所」ですが、佐藤院長には、嘱託医として生活保護の医療扶助における専門的判断や助言指導をしていただいております。多年にわたり生活保護行政の運営に貢献され、その功績が顕著であることから、表彰を受けられました。

高千穂町の民間医療機関が少なくなる中で、佐藤院長は毎日多くの診療に携わりながら地域における医療や保健の分野で多くの役職を担っており、6月には河野知事から宮崎県医療功労者知事表彰も受賞しています。

佐藤院長は、「健康でいるかぎり、これからも生活保護行政や地域医療に力を尽くしていきたい」と話されていました。



## 西臼杵ブロック 民生委員 児童委員研修会 が開催されました

令和5年度西臼杵ブロック民生委員児童委員研修会が12月14日（木）、五ヶ瀬町民センターで開催されました。

研修会では、まず、日向市の医療法人向洋会協和病院の二宮 嘉正 院長と精神保健福祉士の河野 幸代さんから、高齢期のうつ症状や自殺との関係、認知行動療法による治療方法などについて詳しく講演いただきました。

その後、西臼杵郡協議会の馬原 利幸 会長から、11月に広島市で開催された全国大会について報告があり、さらに、高千穂町の戸高 豊秀 委員から、世界一周クルーズに参加した経験をもとに、北欧の社会システムや福祉、人々の暮らしについて日本との違いを交えながらお話をいただきました。

民生委員・児童委員の皆さんは、このような研修にも参加して見識を高めながら、困りごとの相談に応じたり、高齢の方や子どもたちの様子を気にかけて声かけしたりするなど、地域福祉のために日々活動されています。



今年も西臼杵支庁職員が



夜神楽

を舞いました！



12月9日（土）の夕方から10日（日）の朝方にかけて、<sup>のかたの</sup>野方野地区の夜神楽が奉納され、この日のために練習を重ねてきた支庁土木課の若手職員4人が素晴らしい舞いを披露しました。

コロナ5類移行後初めての開催ということもあり、野方野公民館には昨年よりも多くの観客が訪れ、神事が始まった午後6時には公民館を埋め尽くすほどでした。

夜を徹して、地元の人たちと同じように神楽で与えられた役割をしっかりと果たし、4人とも地域に溶け込んでいるようでした。

今回舞った職員が、いずれ人事異動で高千穂を去ることを残念がる保存会の方の声も聞かれましたが、職員にとっては伝統文化を通じて地域の人と親しく交わることができ、貴重な経験と思い出ができたことでしょう。



西臼杵フェイスブック  
「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」 更新中！

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課  
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里  
「高千穂郷」通信

